

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	124	学校名	仙台市立愛子小学校	校長名	梶原 智
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

自然に触れる「愛子こどもの森」での体験活動



2 取組の紹介

愛子小学校のすぐ隣には、「愛子こどもの森」という地域の方々から借り受けた森があります。その森を中心に自然について様々な学習活動を行っています。

愛子の森の学習では、「森の自然に触れ、生き物を観察し、味わうことで森の楽しさを知る。」「森の持つ働きや森の生態を学ぶことで、森を大切にする気持ちを高める。」「森を活用することで身近な森に愛着を持ち、四季を通して、生き物や植物の変化を見ることができる。」の3つのねらいをもとに、主に3年生の総合的な学習の時間に自然について学習しています。

授業の際には「森の応援団 ハグリッズ」の方々をゲストティーチャーとしてお迎えし、カブトムシやその幼虫と触れ合う活動や、キノコの植菌の体験、クルミを集めてその違いを観察する活動、四季を通して木々や草花がどのように変化するか観察する活動など様々な活動を行いました。

他にも「愛子こどもの森」は生活科や理科の学習、特別支援学級の生活単元学習やハグリッズさん主催のイベントなどにも活用されています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

3年生の児童は、総合的な学習のまとめとして、自然について調べて発表する活動がありますが、その活動の中で、自然を守るために自分たちに何ができるか調べたり、森の学習で知ったことをもとにさらに詳しいことを熱心に調べたりしてまとめる姿が見られました。

「愛子こどもの森」での学習を通して、自然に興味をもち、大切にしようとする気持ちが育っているように感じます。